

領収書等添付表(旅費を伴う分)

(平成29年度報告分)

番号		① -							
領収書の内容		第79回全国都市問題会議(11月8~10日)							
用務地(場所及び住所)		沖縄県立武道館 アリーナ 沖縄県那覇市奥武山町52							
宿泊		宿泊地(住所)			宿泊施設名			宿泊料金(円)	
		沖縄県那覇市泉崎2-46			ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー			29,600	
発駅	着駅	料程	利用種別	運賃	急行料金		特別車両料金		座席指定
					料	円	料	円	
大和八木	関西空港		自家用車	—					
関西空港	那覇空港	1189		15,300					
那覇空港	壺川	4.6	モノレール	260					
壺川	那覇空港	4.6	モノレール	260					
那覇空港	関西空港	1189		16,800					
関西空港	大和八木		自家用車	—					
合計				32,620					

【領収書等貼付欄】

※宿泊を伴う場合は必ず宿泊料金の領収書を添付してください。

※領収書原本の添付が困難な場合はコピー添付の上、その所在を明らかにしてください。

<備考>

・本会議は11月9日(木)午前9時30分より開会であり、前日の11月8日(水)の航空便にて沖縄県にて前泊する必要があったため、宿泊代を11月8日・9日の2日間にて計上している。

また本会議が推奨する宿泊施設の多くが満室であったため、樺原市政務活動費の用途基準申し合わせ事項において規定のある上限14,800円を超える宿泊施設に宿泊。

明細書において19,500円×2日間=39,000円となっているが、先述したように政務活動費で計上できる上限は14,800円であるため、実際に政務活動費にて計上できる金額は14,800円×2日間=29,600円となる。よって2日間の宿泊に対し、39,000円-29,600円=9,400円は自費となる。

・大和八木から関西空港までは自家用車に乗り合わせたため、計上しない。

・振込については3名分一括したため、振込手数料864円を3名にて分割  
1人あたり864円÷3名=288円負担。

・請求書及び振込金受付書の原本は松木議員に有り。

政務活動費で計上する金額

72,508

円

〒634-8586

奈良県橿原市八木町1-1-18

橿原市議会事務局

松木 雅徳 様

## ご案内

このたびは、弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。  
本大会のご請求、及び各種確認証をご送付いたしますので、  
ご確認くださいませようお願い申し上げます。

### 第79回全国都市問題会議

#### 請求書

受付番号	434
------	-----

橿原市議会 様

株式会社JTB沖縄

那覇市おもろまち4-19-30新都心DLビル3階

代表取締役社長 杉本 健次



発行日 2017年10月16日

請求番号 126592-002-00717

下記の通りご請求申し上げます。期日までにお支払下さいませようお願いいたします。

請求金額合計(税込)	¥243,300	入金期日:2017年10月31日
------------	----------	------------------

(ご請求額内訳)

宿泊代金	¥117,000	航空代金	¥96,300	観光代金	-
分科会費	-	懇親会費	-	弁当代金	-
大会参加費	¥30,000	シャトルバス代金	-	事務手数料	-
取消料	-	保険料	-	宿泊費①	-
泊費②	-			その他	-
(ご入金内訳)	お預り金	-	ご返金	-	-

お問合せ先  
JTBコンベンションサポートセンター  
TEL:092-751-2102

担当: [Redacted]

振込先  
銀行名: [Redacted]  
口座番号: [Redacted]  
名義人: 丸井TBオキナワ

第79回全国都市問題会議

【明細書】

受付番号	434	檀原市議会	請求金額(税込)	¥243,300
------	-----	-------	----------	----------

受付番号	434 - 1	松木 雅徳 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/08	ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー	19500	2	¥39,000
2017/11/08	JTA005	15300	1	¥15,300
2017/11/10	ANA1740	16800	1	¥16,800
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
			個人合計	¥81,100

受付番号	434 - 2	たけだ やすひこ 様
------	---------	------------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/08	ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー	19500	2	¥39,000
2017/11/08	JTA005	15300	1	¥15,300
2017/11/10	ANA1740	16800	1	¥16,800
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
			個人合計	¥81,100

受付番号	434 - 3	廣井 一隆 様
------	---------	---------

利用日	申込項目	単価	数量	金額
2017/11/08	ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー	19500	2	¥39,000
2017/11/08	JTA005	15300	1	¥15,300
2017/11/10	ANA1740	16800	1	¥16,800
2017/11/09	大会参加	10000	1	¥10,000
			個人合計	¥81,100

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

番号	① - 1
項目名	研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費

領収書等貼付欄  
**〈振込金受取書(兼振込手数料受取書)〉**

※原本は、松木議員に添付

振込先口座に当日中に入金する必要があれば、お振込のご用命は午後2時迄にお願います。(断行宛の場合、とくにご注意ください。)

振込手数料受取書 (兼振込手数料受取書)

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)

お振込日 (和暦) 2019年11月22日

振込先口座に当日中に入金する必要があれば、お振込のご用命は午後2時迄にお願います。(断行宛の場合、とくにご注意ください。)

漢字等で左つめてご記入ください。

銀行  銀行  信金  信組  農協  その他

支店  出願所  代理店

金額 〇〇〇〇 千円 〇〇 百円 〇 十円 〇 円

金額の先頭には¥マークをご記入ください。

現金  振替

備考

種別区分  公金

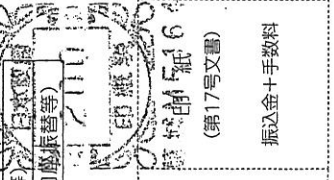
消費税込手数料 〇

振込区分  1.郵便  2.一括  3.未取  特記

\*振込金区分が「現金・有価証券」のときは「振込金受取書(兼振込手数料受取書)」として、「それ以外」のときは「振込受付書(兼振込手数料受取書)」として使用しています。

振込金 〇 現金・有価証券(当座小切手等)  振込書等

区分 上記以外(預金払戻請求書・口座振替等)



33204 2/2 A5

銀行以外の場合はチェックしてください。

銀行  銀行  信金  信組  農協  その他

お振込先 口座番号 〇〇〇〇

お受取人 カ) JTB オキナワ 様

姓と名の間は1マス空けて左つめてご記入ください。

カタカナ カ) JTB オキナワ 様

漢字 カ) JTB オキナワ 様

お受取人 姓と名の間は1マス空けて左つめてご記入ください。

カタカナ 434 カシハラシキ"カイキ

漢字 434 榎原市議議員松本雅徳 様

ご連絡先 (0744) 22 - 4001

日中に連絡が可能なお電話番号をご記入ください

ご利用いただきましてありがとうございます。

南都銀行 榎原支店 株式会社

添付領収書合計	1	円
按分率	( / )	
政務活動費で計上する金額	1	円

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

番号	① - 1
項目名	研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費

領収書等貼付欄

《航空券代(往復)》

往路:平成29年11月8日 関西空港～那覇空港 15,300円

復路:平成29年11月10日 那覇空港～那覇空港 16,800円

領収証 RECEIPT



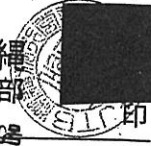
株式会社 JTB沖縄

A No. 017809

廣井 一隆 様

株式会社JTB沖縄  
旅行営業部

〒900-0006  
沖縄県那覇市おもろまち4丁目19番30号



平成 29 年 12 月 1 日

下記の金額正に領収いたしました。

¥32,100-

但し 第79回全国都市内題会議  
航空券代(往復)として(往路  
15,300円復路16,800円)

出納責任者	取扱者

収 入  
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに  
複写記入式でないものは無効です。

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

添付領収書合計	—	円
按分率	( / )	
政務活動費で計上する金額	—	円

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

番号	① - 1
項目名	研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費

領収書等貼付欄

《宿泊代(11月8・9日の2日分)》

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB沖縄

A No. 017808

株式会社JTB沖縄  
旅行営業部  
〒900-0006  
沖縄県那覇市おもろまち4丁目19番30号

廣# 一隆 様

平成29年12月1日

下記の金額正に領収いたしました。

¥39,000-

但し 第79回全国都市内題会議  
宿泊費として(11/8・9の2日分)  
(1泊¥19,500)

出納責任者	取扱者
[Redacted]	[Redacted]

収 入  
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに複写記入式でないものは無効です。

1泊あたり 39,000円 ÷ 2泊 = 19,500円

※領収書のうち、9,400円分は自費。政務活動費で計上する宿泊代は29,600円

※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

添付領収書合計	— 円
按分率	( / )
政務活動費で計上する金額	— 円

領収書等添付表

(平成29年度報告分)

番号	① - 1
項目名	研究研修費・調査旅費・資料作成費・資料購入費・広報広聴費・人件費・事務所費

領収書等貼付欄

〈会議参加費領収書〉

会議参加費領収書

廣井 一隆 様

金 10,000 円

但、「第79回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

平成29年11月2日

第79回全国都市問題会議実行委員会

会 長 城 間 幹



※領収書記載金額の一部を政務活動費で計上する場合、按分を必要とする場合は按分率を記載し金額を計算してください。

添付領収書合計	—	円
按分率	( / )	
政務活動費で計上する金額	—	円

平成 30 年 01 月 26 日

橿原市議会議長様

橿原市議会議員 広井 かずたか



## 研修会(勉強会)参加報告書

このたび、政務調査活動の一環として、下記のとおり研修会(勉強会)に参加したので、報告します。

### 記

① 研修会(勉強会)参加日

平成 29 年 11 月 09 日 (木) ~

平成 29 年 11 月 10 日 (金) [一泊二日]

② 開催会場 那覇市 沖縄県立武道館

③ 研修課題 (勉強課題) 全国都市問題会議  
「ひとつながり都市の魅力と地域の創生戦略」

④ 研修内容 別紙のとおり



研修会名称 (勉強会名称)	第 79 回 全国都市問題会議
開催日時	平成 29 年 11 月 09 日 (木) 09 時 30 分 ~ 17 時 00 分
開催会場	那覇市 沖縄県立武道館
テーマ	ひとつながり都市の魅力と地域の創生戦略 新しい風をつかむまちづくり
開会式 09 時 30 分	開会挨拶 全国市長会 会長 松浦正人 開催市市長挨拶 那覇市長 城間幹子 来賓挨拶 沖縄県知事 翁長雄志 代理
基調講演 09 時 50 分	全国の自治体において、未来を予感させる風が吹いている。 昨年度の訪日外国人数が 2000 万人を超えたことである。 日本政府は 2020 年の訪日外国人数を現在の倍 4000 万人にすることを目標に掲げている。 SNS に代表される ICT の発達と普及により新たな情報発信が重要視されるようになった。
主報告 11 時 00 分	本格的な超高齢・人口減少社会が予測される中、訪日人口の活発化・その動機や目的(価値観)の多様化など「新しい風」をつかみ、都市をさらに発展させることが求められている。 多様性のある江戸時代の都市 東京大学史料編集所教授 山本博文
一般報告 13 時 10 分	ひとつながりまち 新しい風をつかむまちづくり 沖縄県那覇市長 城間幹子
一般報告 14 時 40 分	人口減少社会の実像と都市自治体の役割 人口とインフラの適正な持続的配置はいかに可能か? 首都大学東京大学院人文科学研究科准教授 山下祐介
一般報告 15 時 50 分	自然と都市が融合し共生が地域の価値を高めるまちづくり 北海道釧路市長 蝦名大也
17 時 00 分 終了	新たなステージに入った沖縄観光 複合的な魅力を有するハイブリットリゾートへ 琉球大学観光産業科学部長・教授 下地芳郎
	( 以上 ・ 続く )

<b>研修会名称</b> (勉強会名称)	第 79 回 全国都市問題会議 ひとつがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略
<b>開催日時</b>	平成 29 年 11 月 10 日 (金) 09 時 30 分 ～ 12 時 00 分
<b>開催会場</b>	那覇市 沖縄県立武道館
<b>テーマ</b>	ひとつがつなぐ都市の魅力と地域の創生戦略 新しい風をつかむまちづくり
<b>講師</b>	コーディネーター 早稲田大学理工学術院 教授 後藤 春彦 パネリスト 株式会社能作 専務取締役 能作 千春 まちとひと 感動のデザイン研究所 代表 藤田 とし子 沖縄文化芸術振興 アドバイザー 平田 大一 福井県勝山市長 山岸 正祐 静岡県島田市市長 染谷 絹代
<b>パネルディスカッション</b> 09 時 30 分開始	産業観光による地方創生 株式会社能作 専務取締役 能作 千春 (能作克治氏代理)
	人と人がつながり、共感で響き合う ～街の魅力と新たな地域価値創造～ まちとひと 感動のデザイン研究所 代表 藤田 とし子 ～感性・文化産業と沖縄感動産業戦略構築への道～ 「感動立県おきなわ！を目指して」 沖縄文化芸術振興 アドバイザー 平田 大一
閉会式 11:50 開始	ふるさとルネッサンス ～16年の軌跡～ 福井県勝山市長 山岸 正祐
	ひとを育て・人が育つまちづくり ～協働・連携の中で～ 静岡県島田市市長 染谷 絹代
	次期開催市市長挨拶 新潟県長岡市 磯田 達伸 閉会挨拶 後藤・安田記念東京都市研究所理事長 新藤 宗幸
	(以上) <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">続く</span>

## 全国都市問題会議に出席した感想

今回初めて全国都市問題会議に出席させていただき、各自治体それぞれに抱えている問題があり、その問題を解決するために各首長はじめ行政の皆さんが、日夜奮闘されていることがわかりました。

今回の研修内容が全て榎原市に当てはまるわけではないですが、間違いなく言えることはどのような施策もまず国策が先行しており、それに付随するような形で行うと各自治体の成果がわかりやすい・結果が出しやすいと考えられます。

逆に国策では無いが、地元特性に注力した施策の場合は各地域・各地元の協力と盛り上がり具合によって成功の可否であったり、結果を出すまでの時間や期間にバラツキがあったり長期間のスパンで考える必要があると思います。

ただ現実問題として、各首長も4年の任期があり、継続した事業を行うのに時間的な制約があるような感覚を覚えました。

三期・四期と続けてこられた首長は各地元の盛り上がりなど、不確定要素により…

言葉は悪いですが、たまたま上手く行ったように思われるものもあります。

やはり一期4年で結果を出すには、国策に則って施策を打ち出す必要があると感じました。

特に都市問題は観光政策から住宅政策・居住政策・子育て政策・就労政策など、多岐にわたっており、就労問題の糸口に観光政策を進めると静かな住宅環境を求める声が出るなど、大変な苦勞を重ねながら施策を進めておられる苦勞話など聞かせていただくと、本当に微妙なバランス感覚で行政を遂行しておられるのが良く理解できました。

檀原市の観光政策は見る観光から体験する観光に、さらに学習する観光を目指して進んでいます。

今回の全国都市問題会議に出席して、一生懸命に施策を進める行政職員の皆さんと絶妙のバランス感覚の方針を示す首長の皆さんのご苦勞の一端を拝見できました。

私の地元檀原市政でも同じように苦勞されていると思います。

他市のお話を聞きながら、自市の職員の皆さんに感謝しなければいけないと思いました。

以上

# 日 程

## 第1日 11月9日(木)

- |       |         |                     |           |
|-------|---------|---------------------|-----------|
| 9:30  | 開 会 式   |                     |           |
| 9:50  | 基 調 講 演 | 東京大学史料編纂所教授         | 山 本 博 文 氏 |
| 11:00 | 主 報 告   | 沖縄県那覇市長             | 城 間 幹 子 氏 |
| 12:00 | ( 昼 食 ) |                     |           |
| 13:10 | 一 般 報 告 | 首都大学東京大学院人文科学研究科准教授 | 山 下 祐 介 氏 |
|       | ( 休 憩 ) |                     |           |
| 14:40 | 一 般 報 告 | 北海道釧路市長             | 蝦 名 大 也 氏 |
| 15:50 | 一 般 報 告 | 琉球大学観光産業科学部教授       | 下 地 芳 郎 氏 |
| 17:00 | ( 終 了 ) |                     |           |


## 第2日 11月10日(金)

- |       |             |                    |           |
|-------|-------------|--------------------|-----------|
| 9:30  | パネルディスカッション |                    |           |
|       | [コーディネーター]  |                    |           |
|       |             | 早稲田大学理工学術院教授       | 後 藤 春 彦 氏 |
|       | [パネリスト]     |                    |           |
|       |             | 株式会社能作代表取締役社長      | 能 作 克 治 氏 |
|       |             | まちとひと 感動のデザイン研究所代表 | 藤 田 とし子 氏 |
|       |             | 沖縄文化芸術振興アドバイザー     | 平 田 大 一 氏 |
|       |             | 福井県勝山市長            | 山 岸 正 裕 氏 |
|       |             | 静岡県島田市長            | 染 谷 絹 代 氏 |
| 11:50 | 閉 会 式       |                    |           |
| 12:00 | ( 昼 食 )     |                    |           |
| 13:00 | 行 政 視 察     | (那覇市主催)            |           |

會議參加証

第79回 全国都市問題会議

奈良県  
橿原市議会  
議員



廣井 一隆

受付番号: 0434-003

1695

